

J A江刺との連携協定が10周年

繋



“相互扶助”を体現する連携協定

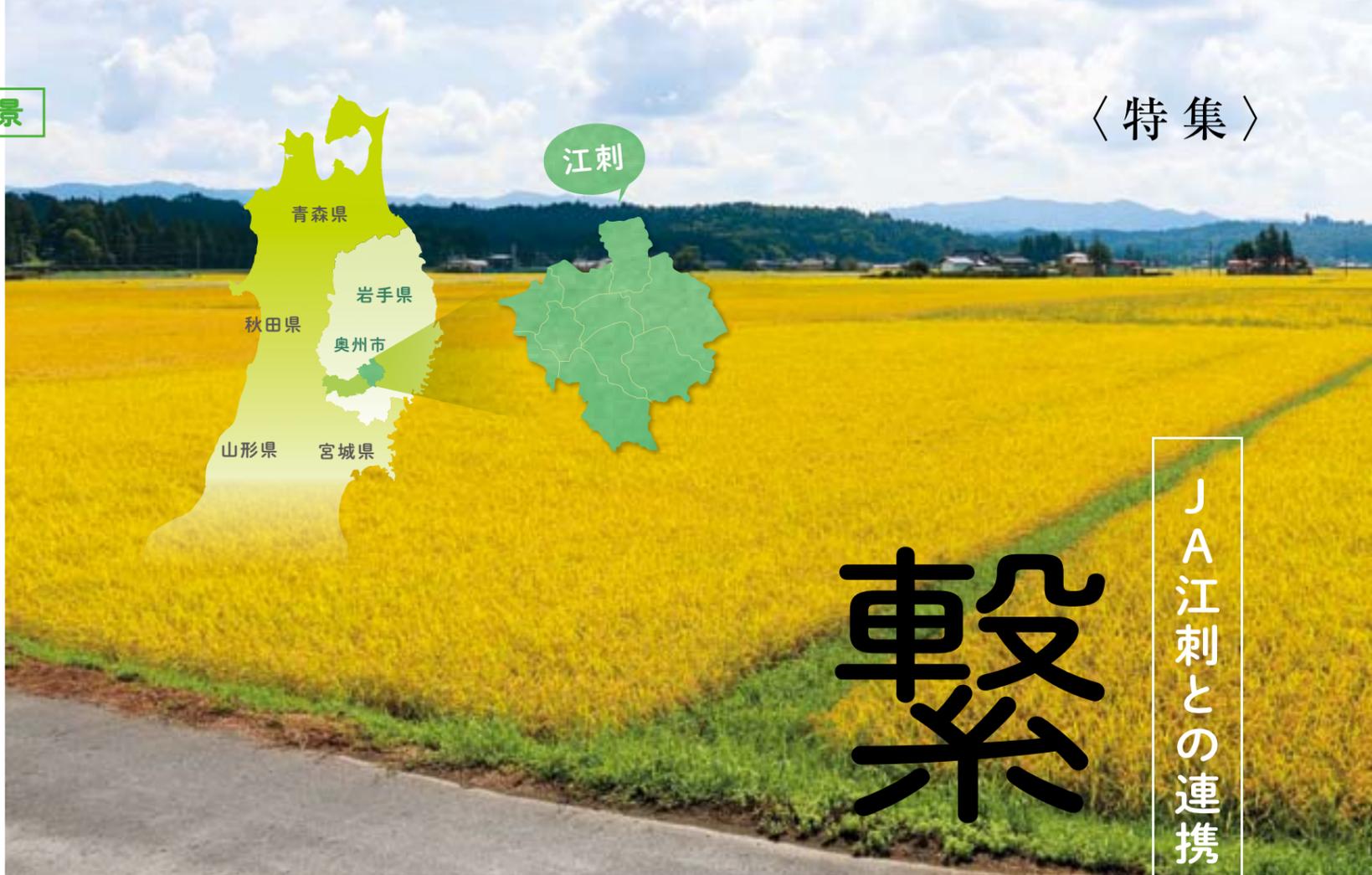
互いに助け合い、支え合うことを意味する「相互扶助」。JAは、この精神をもとに農家の営農や暮らしを守るために組織された協同組合です。

2013年11月の東日本大震災により、施設の倒壊などの被害があったJA江刺では、災害への対応が見直されていきました。その対策の一つとして、市同士が姉妹都市提携を結ぶJA掛川市と「連携協定」を締結。協定書には、災害時における食糧および応急物資の供給や職員の派遣、農産物の相互販売、人材育成などが盛り込まれ、JA同士の交流を深め



連携協定締結以降、JA掛川市も出店するJA江刺の「JAふれあいフェスティバル」。

収穫を控えた水田。江刺は、平坦・中間・山間の地形を有し、自然環境に恵まれた地域です。



江刺の風景



赤く色づいたリンゴ。



棒を立て、稲を天日干しする「ホニオ掛け」。



江刺の市街地。



11月下旬、雪の積もるリンゴ園。



東京-新青森間を結ぶ東北新幹線。東京駅から14駅目に水沢江刺駅があります。

700キロ離れた友好JA「JA江刺」

掛川市から約700km、電車で約5時間、車だと約9時間のところ

ながら事業の発展に繋がる内容となっています。これまでに、お互いのイベントである掛川農業祭、JAふれあいフェスティバルへの参加などで交流を深めてきました。そして、この協定が今年で10周年を迎えました。節目の年となったことに榛葉稔組合長は、「農業祭を通じて特産物を紹介し合い、双方のJ

Aの認知度が向上した。今では定着したことを実感している」と話し、「昨年連携協定を結んだJA東京スマイルも交え、それぞれ環境は違いますがJA運動を盛り上げていきたい」と抱負を語りました。今後さらなる交流を続け、両JA事業の発展と地域の活性化に向けた取り組みが期待されます。

に、岩手県奥州市江刺はあります。県の中南部に位置し、西は北上川流域の平坦地から東は北上山系へと連なる標高870mまでの地形を有しています。自然環境に恵まれた土地で、地域ごとの特徴を生かした農業が特徴です。江刺では、肥沃な土地条件を生かし、「米・牛・リンゴ・野菜」の4本柱を組み合わせた複合農業を実践しています。「江刺金札米」「江刺牛」「江刺りんご」「江刺野菜」のブランドを確立し、地産地消運動の展開はもちろん、全国に向けても積極的に発信しています。

知って欲しい。感動する。加えて。

文化を知る

ことば

文化の違いとしておもしろいのがその地域の方言。江刺の会話をちょっとのぞいてみましょう。

- お客さんが訪ねてきた時
まんずながさへってねまんい
(とりあえず中へ入っておかけください)
- 園場で
今年のリンゴらづもねぐおがったなあ
(今年のリンゴとても良く育ったなあ)
- ほかにも
ひてこび(ぶ) (おでこ)
このげ (まゆげ)
まなぐ (目)
ほったぶ (頬)
おどげ (あご)



JA江刺のこと

データ

令和5年3月31日時点

組合員数	5,411人 (正 3,726人・准 1,685人)
JA江刺青年部	177人
JA江刺女性部	884人
稲作部会	1,294人
水稲採種部会	47人
大豆部会	44人
野菜部会	214人
りんご部会	107人
和牛部会	280人
肉牛部会	7人
酪農部会	4人
江刺肉用牛ヘルパー組合	72人
ひつじ部会	8人

伝統物産

江刺で作られる岩谷堂筆筒(いわやどうたんす)は、1982年に経済産業大臣指定伝統的工芸品に指定されています。ほかに、岩谷堂羊羹、卵めんといった伝統物産や、鹿踊などの郷土芸能が伝承されています。



獣害

ツキノワグマによる被害は、人間だけではなく農作物にも。赤く色づいた頃のリンゴを狙うなど、大きな被害が出ています。

ツキノワグマの爪とキバ▲

江刺を知ろう。

もっともっと！

食

㊦ あんかけうどん

冬の郷土料理として食されてきた「あんかけうどん」。しょうゆベースでとろみのついたスープが特徴です。



㊦ みそ焼きおにぎり

江刺で焼きおにぎりといえばみそ味。金札米の焼きおにぎりは絶品です。

㊦ 江刺牛

JA江刺からステキなプレゼント



江刺りんごジュース 三姉妹セット 5名様

- ★長女「サンつがる」
 - ★次女「ジョナゴールド」
 - ★三女「サンふじ」
- 1000ml瓶×3本入

応募方法 ハガキまたはEメールに①郵便番号②住所③氏名④電話番号⑤本誌の感想や意見、近況、JA江刺への応援メッセージ等を明記のうえ、下記までお送りください。

応募宛先 〒436-0008 掛川市千羽100-1 JA掛川市広報誌あぐり「プレゼントコーナー」係 まで

応募締切 令和5年12月29日(金)必着
ご応募いただいた際の個人情報、当選者への商品発送のために利用させていただきます。また、ご意見・ご感想等は当広報誌のお便利コーナーに掲載させていただく場合があります。匿名希望の方はペンネームを明記してください。

買って、食べて応援！

JA江刺ネット ショッピングサイト

JA江刺が運営するネットショップ「SUN market Esashi(サンマーケット江刺)」では、岩手県奥州市江刺で生産された農産物や加工品が多数取り揃えられています。

サンマーケット江刺

<https://sun-m.shop/>

@sun.market.esashi

@sun_market_esashi

米ブランドとして100年の歴史を持つ

江刺金札米

県内でも有数の米どころで、減農薬・減化学肥料の特別栽培米“ひとめぼれ”に取り組んでいます。生産農家のほぼ100%がこの栽培方法を実践し、管内全体で品質の統一を図り、安全・安心な米の産地づくりを進めています。金札米の由来は、古くから高品質な米を栽培していた江刺が、全国の類似品と見分けがつくように「金札」を付して出荷したことが始まりです。



▶カントリーエレベーター(米の集荷、乾燥、調整、出荷施設)



地元で生まれ育った黒毛和種

江刺牛

肉のランク付けで上位等級にあたるA、Bランクの5~4等級のみを江刺牛として販売しており、首都圏などへ上質の牛肉として届けています。きめ細やかなサシと旨みのある良質な脂質が特徴です。生産者は8名と少数精鋭ながらも各種大会で上位入賞。豊富な草、良質な稲わらと愛情を注ぎこみ大切に育てています。



◀キャトルセンター(子牛の管理育成施設)

こだわりの栽培法と自然の力で育った

江刺りんご

江刺は、昼と夜の気温差が大きく、土壌も石灰とリン酸分が多いことから、りんご栽培に適しています。

作業の効率化、高品質の取り組みとして、樹の高さを低く(2.5m以下を目安)仕立てる「わい化栽培」を行うほか、反射材シートの使用禁止や完全無袋栽培など、食味を高めるための取り組みを行っています。



◀りんご選果機



◀りんご選果機

主力果菜3品を中心とした江刺型農業の基幹作物

江刺野菜

江刺の気候に合わせた作型で、果菜3品「トマト・キュウリ・ピーマン」を中心に葉菜、ナス、ミニトマト、菌茸類などを長期にわたって出荷しています。循環型農業に取り組み、土壌診断を実施した圃場へ、牛ふんを利用して作られた堆肥を投入した栽培体系をとっています。栽培履歴の記載と情報開示に努め、安全・安心と信頼を消費者に届けています。



▶園芸センター